



オリンパスの事業と成長戦略

01 会社概要

02 事業概要

03 グローバル・メドテックカンパニーに向けた挑戦

04 株主還元

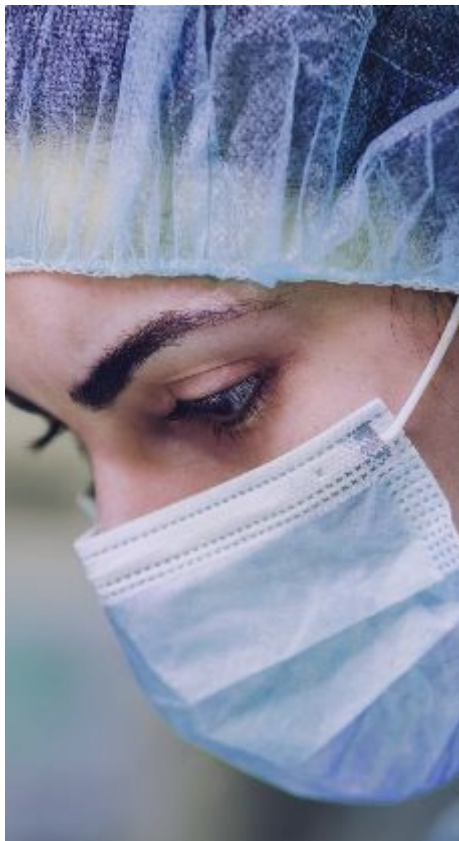
01

会社概要

世界で展開するオリンパスの事業



内視鏡事業



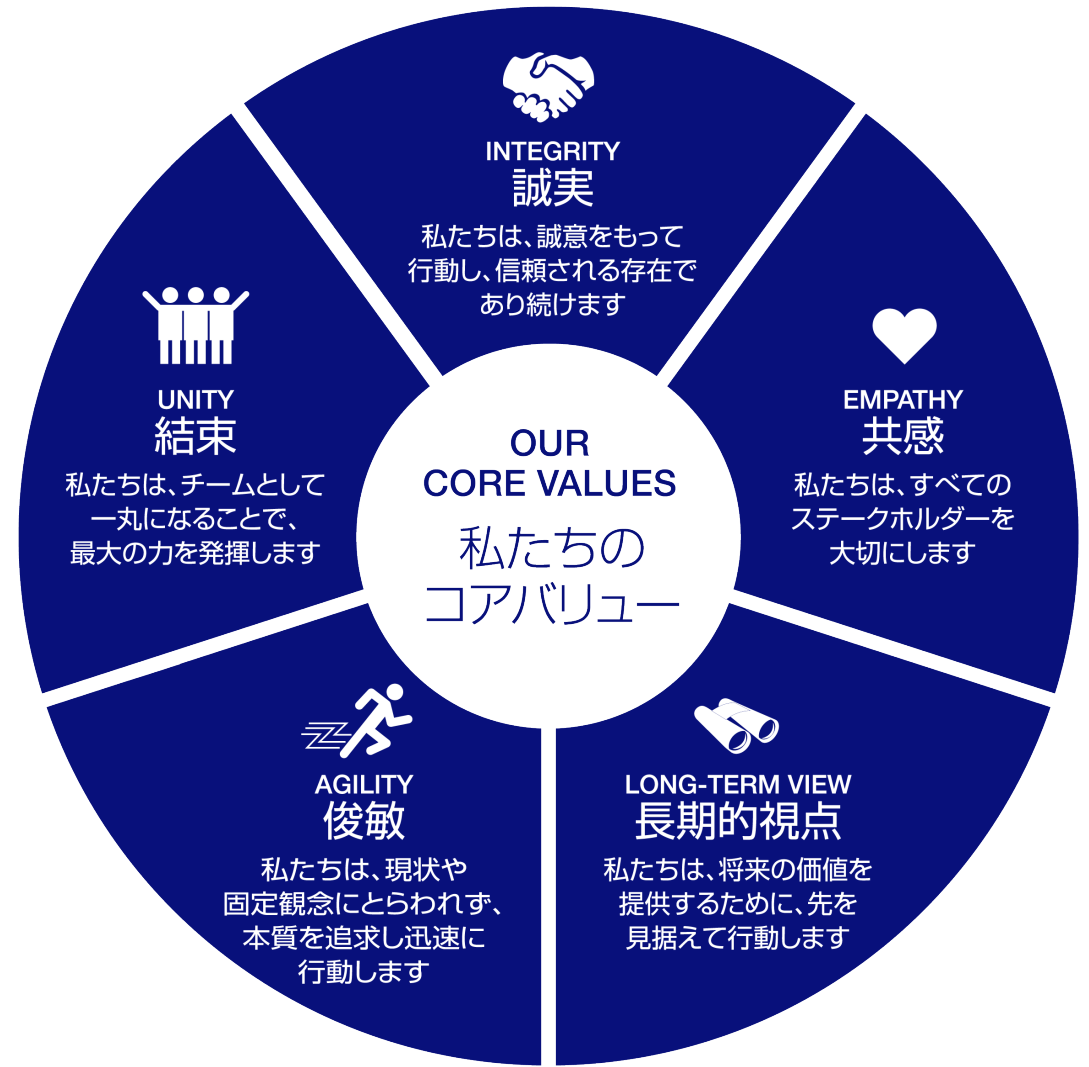
治療機器事業



科学事業

オリンパスはこれからも医療、科学の分野で、
経営理念の実現のために
革新的な製品やサービスを社会に提供します

私たちの存在意義 世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現



オリンパスの歴史



顕微鏡旭号
を発売

1920



オリンパス光学工業に
社名を改称

1949



欧州に現地法人
を設立

1964



医療用硬性
内視鏡に参入

1975

1919

創業者・山下長に
より顕微鏡の国産
化を目指し、創立。
当時の社名は
高千穂製作所



1936

写真レンズ「ズイコー」を開
発し、当社初のカメラ
セミオリンパス I を発売

1950

世界初の実用的な
ガストロカメラ
(胃カメラ) を開発



1968

米国に現地法人
を設立



オリンパスの歴史



オリンパス株式会社に
社名を改称

2003



中国に内視鏡
修理技術センター
上海を設立

2006

分析機事業
譲渡

2009

過去の損失計上の
先送りが発覚

2011

新経営体制が発足、
ソニーと資本・業務提携

2012

中期経営計画
「16CSP」を発表

2016

企業変革プラン
「Transform Olympus」、
経営戦略を発表

2019



オリンパス
100周年

2020

内視鏡ビデオ
スコープシステム
EVIS X1を発売



映像事業
譲渡

2021

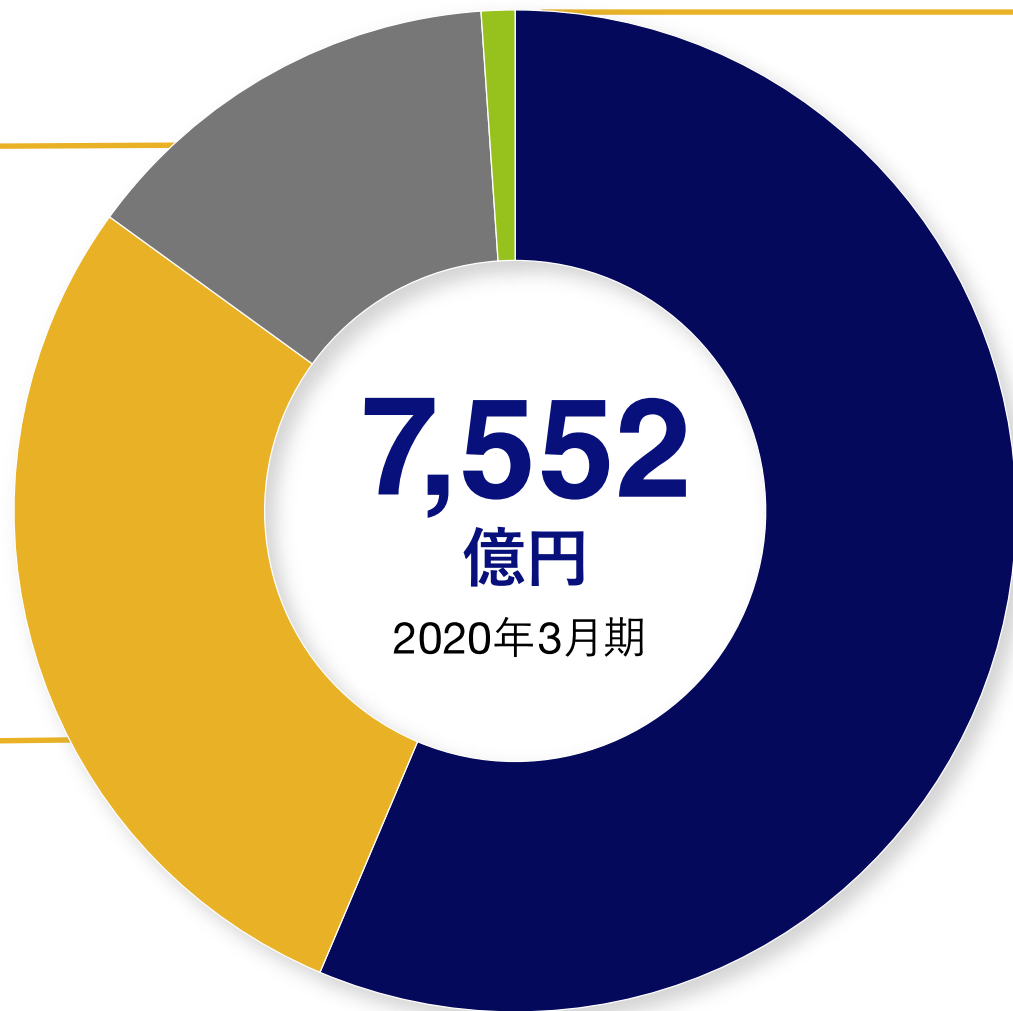
事業別売上高

1,052億円 13.9%

科学事業

2,161億円 28.6%

治療機器事業



7,552
億円

2020年3月期

82億円 1.1%

その他

4,257億円 56.4%

内視鏡事業

*FY2021Q2より映像事業を非継続事業に分類したことに伴い、「その他」及び「合計」の数値を組み替えて表示しています。(FY2020通期の数値は監査前の数値となります。)

オリンパス企業情報



6,418億円

医療事業売上高
2020年3月期*

オリンパスの医療事業は
全売上の約80%を占めています

*数値は2020年3月時点の年度売上収益



70%

消化器内視鏡シェア*

オリンパスは消化器内視鏡分野での
先進的企業です

*2020年3月現在



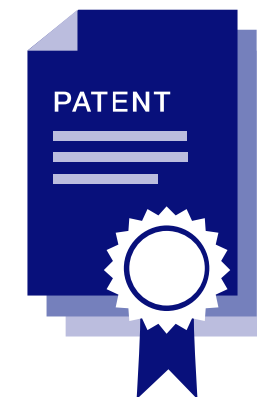
80%超

海外売上比率*

33,858

全従業員数*

*2020年12月現在
全従業員数は非継続事業含む合計



20,000

特許の保有件数*

*2020年3月現在

02 事業概要



MEDICAL

医療分野

医療分野

オリンパス医療分野が提供する2つの価値

医療分野を取り巻く環境

- ・高齢化の進展
 - ・医療コスト削減の圧力
 - ・患者さんのQOL（Quality of Life）の向上
- 

早期診断
(Early Diagnosis)

低侵襲治療
(Minimally Invasive Therapy)

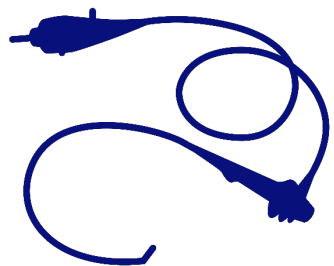
オリンパス医療分野の特長

① 長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

- ✓ 半世紀以上に渡る医師との協働開発体制
- ✓ 最先端のテクノロジーを活かした製品開発

② 強固な事業基盤

- ✓ 約200拠点に広がる業界トップのサービス体制
- ✓ 内視鏡医の育成を支援するトレーニングセンター
- ✓ 医師のニーズを具現化する独自のものづくり力



内視鏡事業 ： Endoscopic Solutions

オリンパスの内視鏡事業は、医療分野における革新的な技術と製造技術で医療従事者のみなさまとともに歩んでまいりました。診断そして低侵襲治療において、より良い臨床結果を生み、医療経済にベネフィットをもたらし、世界の人々の健康やQOL向上に貢献してまいります。1950年に世界で初めてガストロカメラを実用化して以来、オリンパスの内視鏡事業は成長を続けており、現在では、軟性内視鏡、硬性鏡、ビデオイメージングシステムから、システムインテグレーション、修理サービスに至るまで、様々な製品・サービスで医療に貢献しています。



内視鏡事業 : Endoscopic Solutions

消化器内視鏡システム



消化器内視鏡
ビデオスコープシステム

外科内視鏡システム



4K内視鏡システム



3D内視鏡システム



リプロセス



内視鏡自動洗浄消毒装置

システム インテグレーション



手術室

修理サービス



リペアセンター

各製品における市場規模及び当社シェア

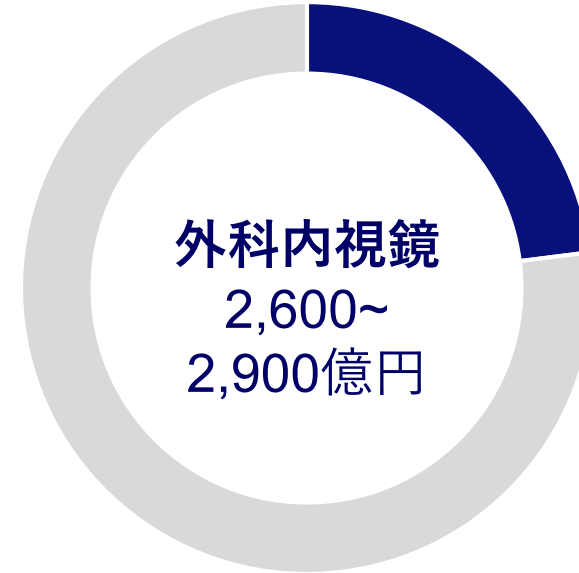


■ オリンパス ■ 富士フイルム, HOYA

4~6%

CAGR

70%超



■ オリンパス ■ STORZ, Stryker, Richard Wolf, Arthrex

2~4%

CAGR

20%-25%

*本ページのシェア、市場規模、成長率見通しは自社調べ。シェア、市場規模は2020年3月末時点。成長率見通しは2020年3月期から2023年3月期。

オリンパス医療分野の特長

① 長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

- ✓ 半世紀以上に渡る医師との協働開発体制
- ✓ 最先端のテクノロジーを活かした製品開発

② 強固な事業基盤

- ✓ 約200拠点に広がる業界トップのサービス体制
- ✓ 内視鏡医の育成を支援するトレーニングセンター
- ✓ 医師のニーズを具現化する独自のものづくり力

① 長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

半世紀以上に渡る医師との協働開発体制

1950年

世界初

胃カメラ開発



臨床試験に臨む宇治医師

1964年

ファイバースコープ



1985年

ビデオ内視鏡システム



2002年

世界初

ハイビジョン
内視鏡システム



2012年

EVIS LUCERA ELITE
EVIS EXERA III



2020年

新製品

次世代消化器
内視鏡システム
EVIS X1

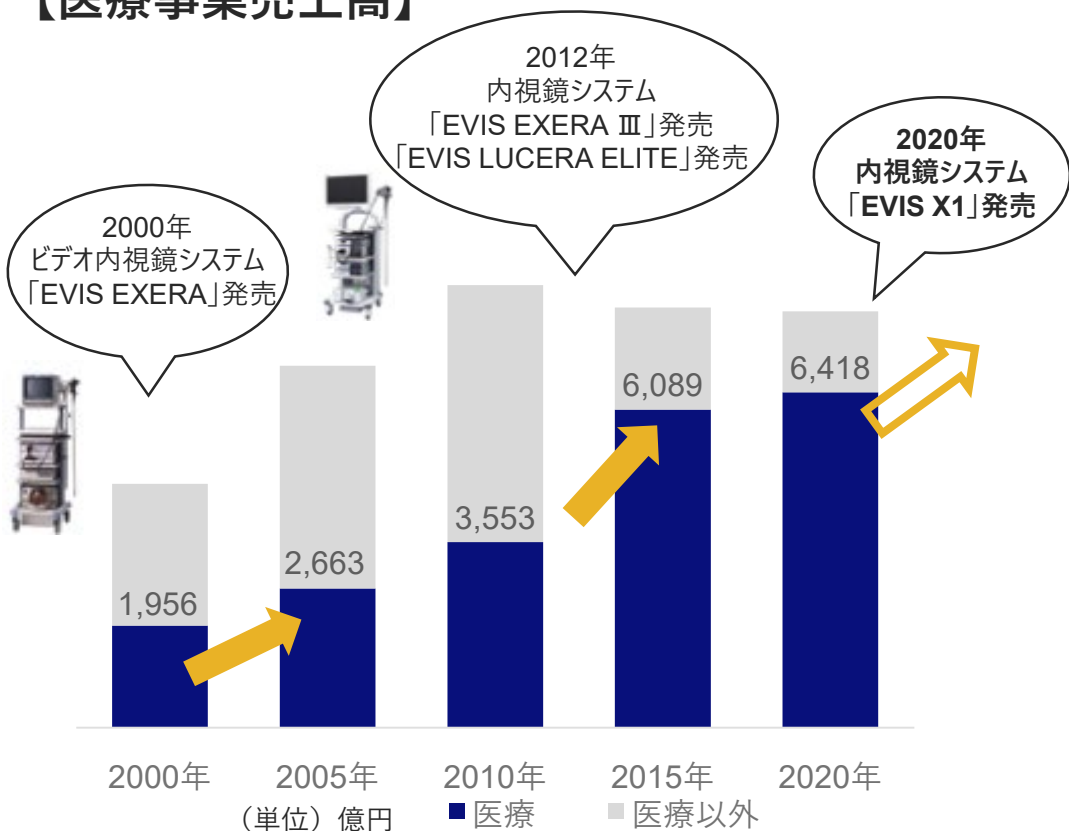


医師のニーズにあった製品開発力、最先端の技術力

① 長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

最先端のテクノロジーを活かした製品開発（消化器内視鏡領域）

【医療事業売上高】



次世代消化器内視鏡システム「EVIS X1」を導入

2020年4月に欧州・アジア一部地域、2020年7月に日本で販売を開始



「EVIS X1」の主な特長

- 01 初のグローバル統一モデル
- 02 使い勝手の向上・高効率な検査
- 03 更なる治療・診断の向上をもたらすイメージング技術

① 長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

更なる治療・診断の向上をもたらすイメージング技術 ① TXI



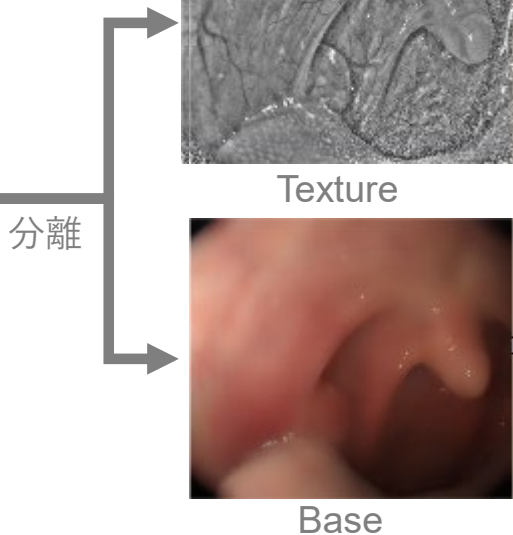
TXI 構造色彩強調機能

粘膜表面の「構造」「色調」「明るさ」の3つの要素を最適化することで、病変部などの観察性能向上に貢献

画像処理動作

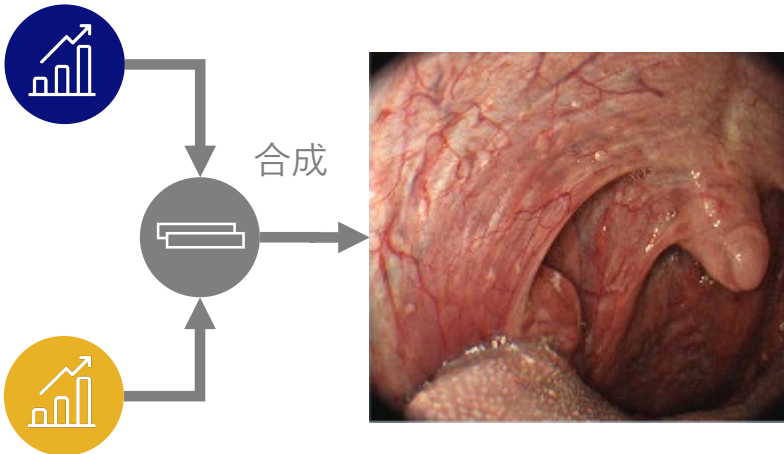


通常光観察

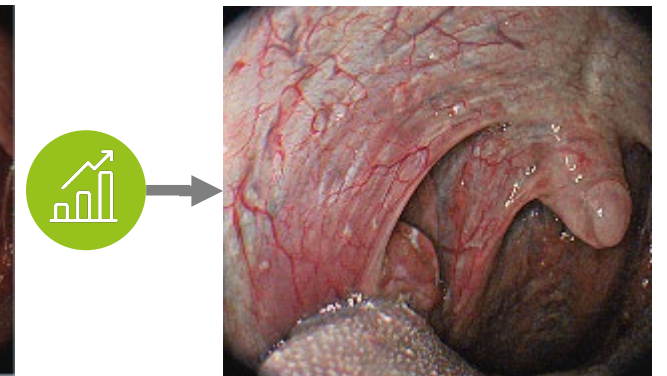


01. Texture Enhancement 構造強調

03. Color Tone Enhancement 色彩強調



02. Brightness Enhancement 明るさ強調/補正



TXI 処理後

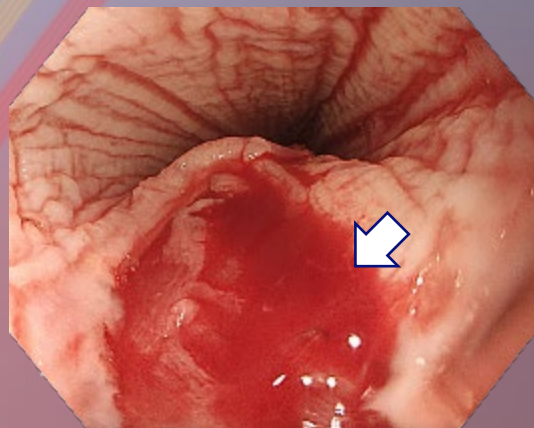
① 長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

更なる治療・診断の向上をもたらすイメージング技術 ② RDI

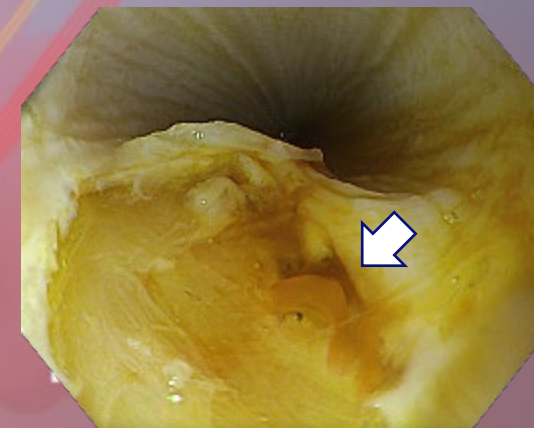


RDI 赤色光観察

緑・アンバー・赤の3色の特定の波長の光を照射することで、出血部分や深部血管などの視認性向上が支援され、止血処置を迅速かつ容易にサポート



Fresh
Blood



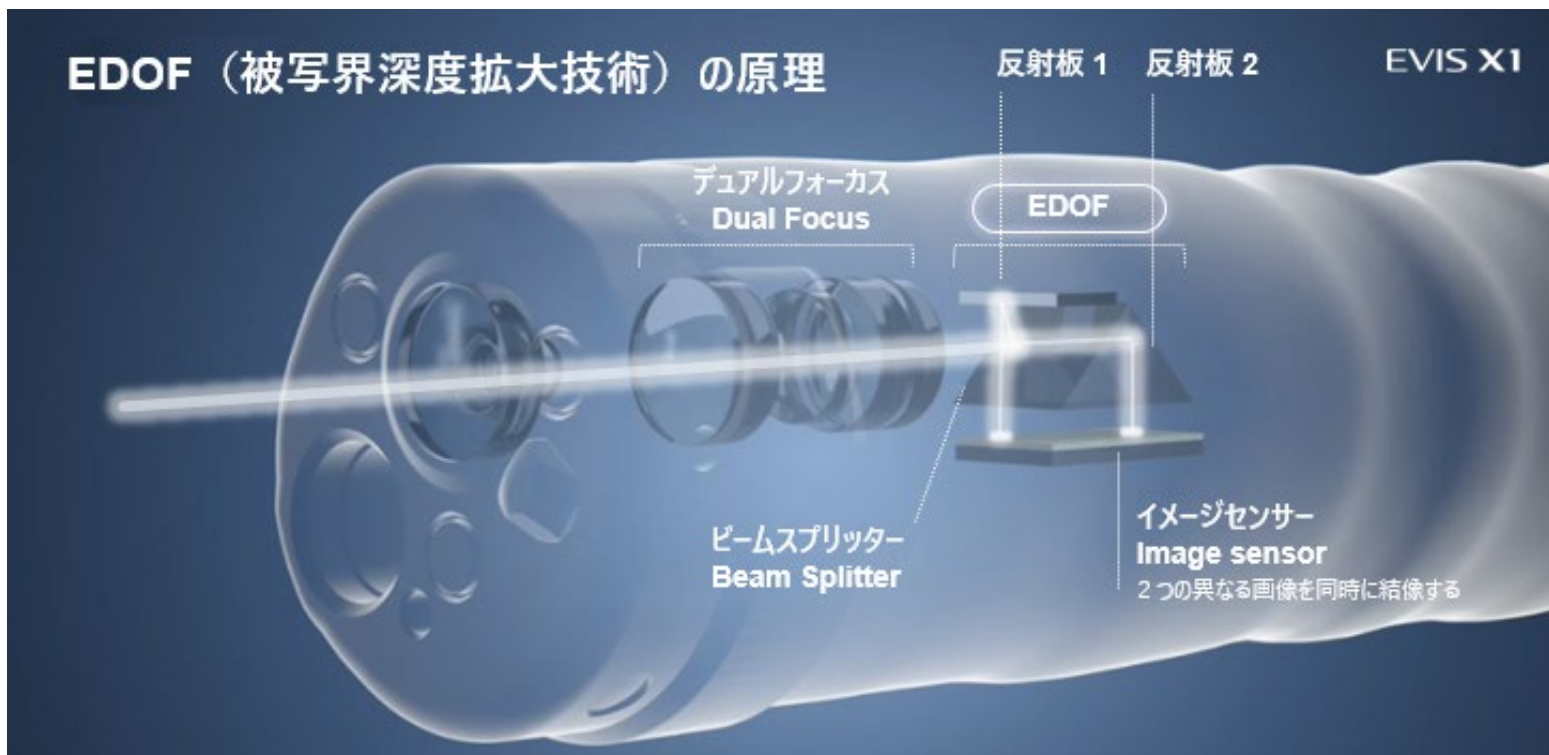
① 長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

更なる治療・診断の向上をもたらすイメージング技術 ③ EDOF



EDOF 被写界深度拡大技術

焦点距離の異なる2つの画像を合成することにより、ピント調整の必要性を低減し、検査の時間短縮や精度向上に貢献



① 長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

最先端のテクノロジーを活かした製品開発（外科領域）

ソニーとの合併会社で両社の強みを結集

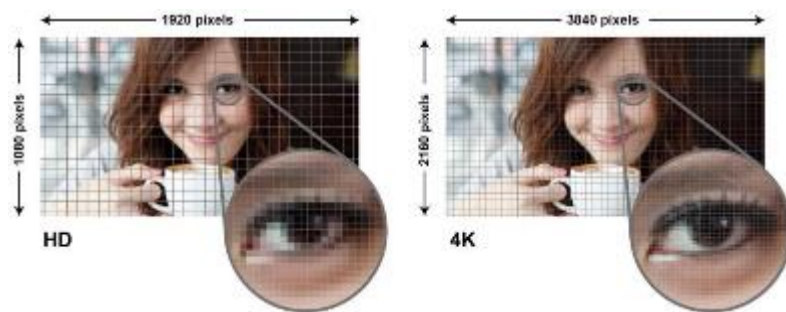


4K技術搭載の外科手術用内視鏡システム

- ✓ 高精細画像で手術時の視認性向上に貢献
- ✓ 豊富な色再現性により、微細組織の容易な識別をサポート



4K外科手術用内視鏡システム



フルハイビジョン映像と4K映像の比較

4K 3Dビデオ技術搭載の手術用顕微鏡システム

- ✓ 高精細画像で緻密な手術をサポート
- ✓ 大型55型モニターによる観察を実現し、術者の疲労軽減とチームサージャリーに貢献



手術用顕微鏡 ORBEYE



ORBEYEを用いた手術風景

② 強固な事業基盤

グローバルで約200拠点に広がる業界トップのサービス体制



世界最大の内視鏡修理センター（米国）



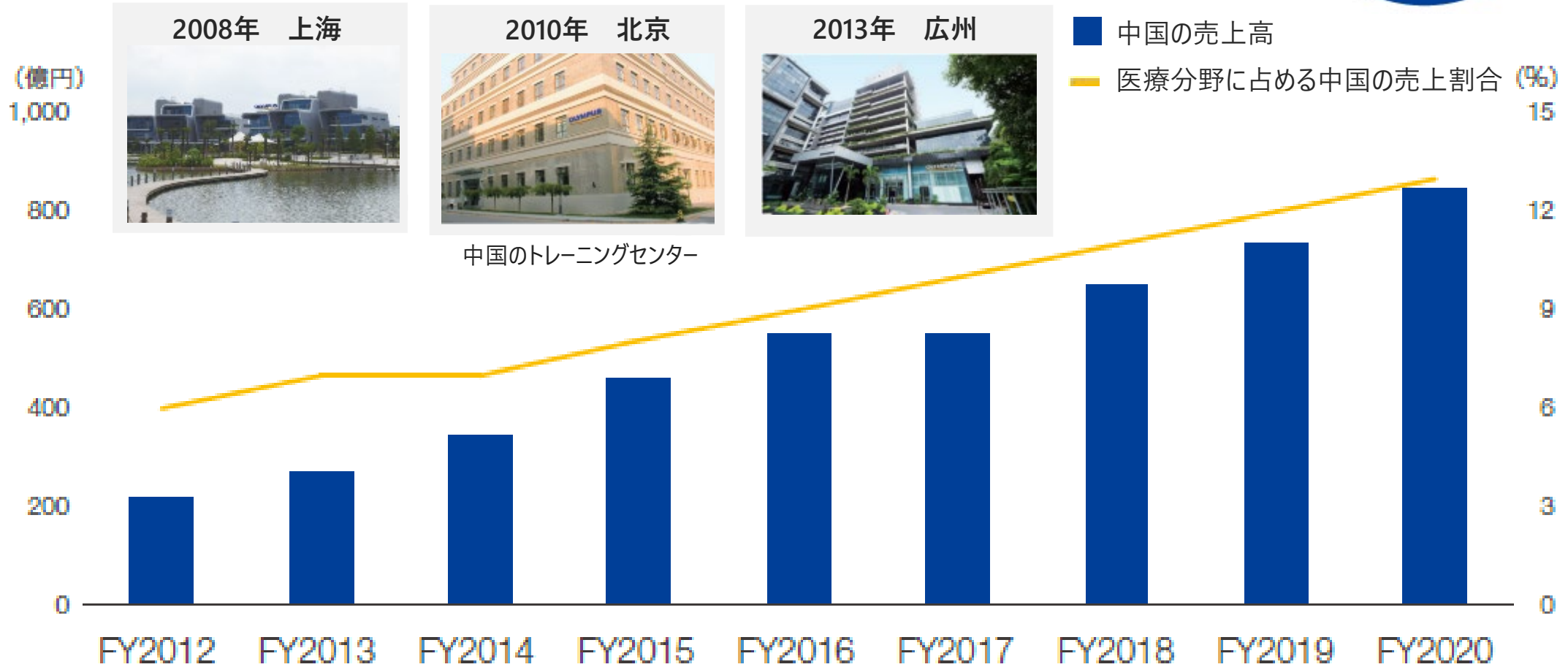
② 強固な事業基盤

内視鏡医の育成を支援するトレーニングセンター

【中国売上成長グラフ】

約**3.9**倍

中国市場の2020年3月期と
2012年3月期の売上高を
比較した数字



② 強固な事業基盤

多品種少量生産を実現するものづくり力

- ✓ 既製品に存在しない設備、加工部品などを内製化
- ✓ 数ミクロンレベルの超精密部品を具現化する微細加工技術
- ✓ さまざまな技術とノウハウを細かく組み合わせて調整する日本特有の「すり合わせ技術」
- ✓ 開発からアフターケアまで一貫した製造体制を構築（医療現場のフィードバックを適宜生産に反映）



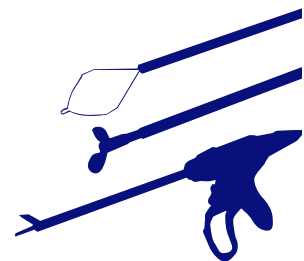
スコープを構成する超精密部品



スコープ部品の精密組立作業

医療分野主力製造拠点 東北3工場





治療機器事業

: Therapeutic Solutions

オリンパスの治療機器事業は、医療分野における革新的な技術と製造技術で医療従事者のみなさまとともに歩んでまいりました。診断そして低侵襲治療において、より良い臨床結果を生み、医療経済にベネフィットをもたらし、世界の人々の健康やQOL向上に貢献してまいります。ポリープ切除用のスネア開発に始まり、外科用デバイスの開発や処置具のラインアップの拡充などを経て、様々な製品が疾患の予防、診断、治療に役立っています。

治療機器事業：Therapeutic Solutions

内視鏡用処置具



クリップ



高周波ナイフ



採石バスケット

泌尿器科 / 婦人科用デバイス



レゼクトスコープ

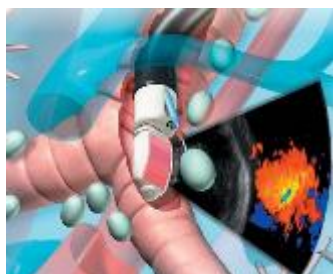


腎盂尿管ビデオスコープ

エネルギーデバイス



呼吸器科デバイス



EBUS-TBNA*



気管支内バルブシステム**

耳鼻咽喉科用デバイス



デブリッター



耳鼻咽喉
ビデオスコープ

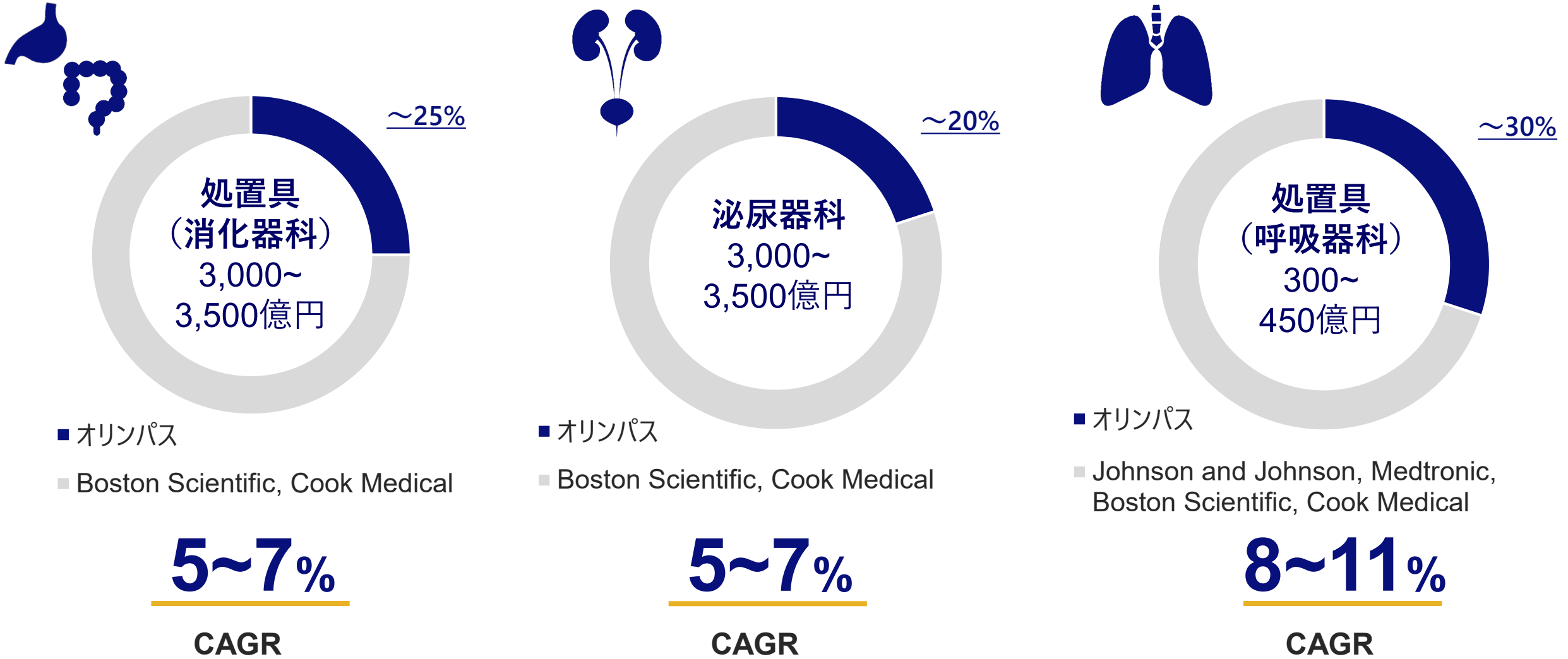


エネルギーデバイス

*超音波気管支鏡ガイド下針生検

**医薬品医療機器等法未承認の研究開発品
であり販売供与不可

各製品における市場規模及び当社シェア

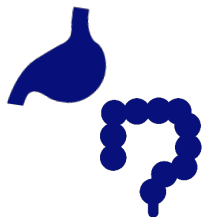


*本ページのシェア、市場規模、成長率見通しは自社調べ。シェア、市場規模は2020年3月末時点。成長率見通しは2020年3月期から2023年3月期。

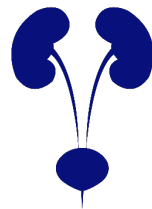
オリンパス治療機器事業の特長

① 重点分野（消化器科・泌尿器科・呼吸器科）への注力

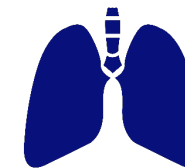
☑ 消化器科



☑ 泌尿器科



☑ 呼吸器科

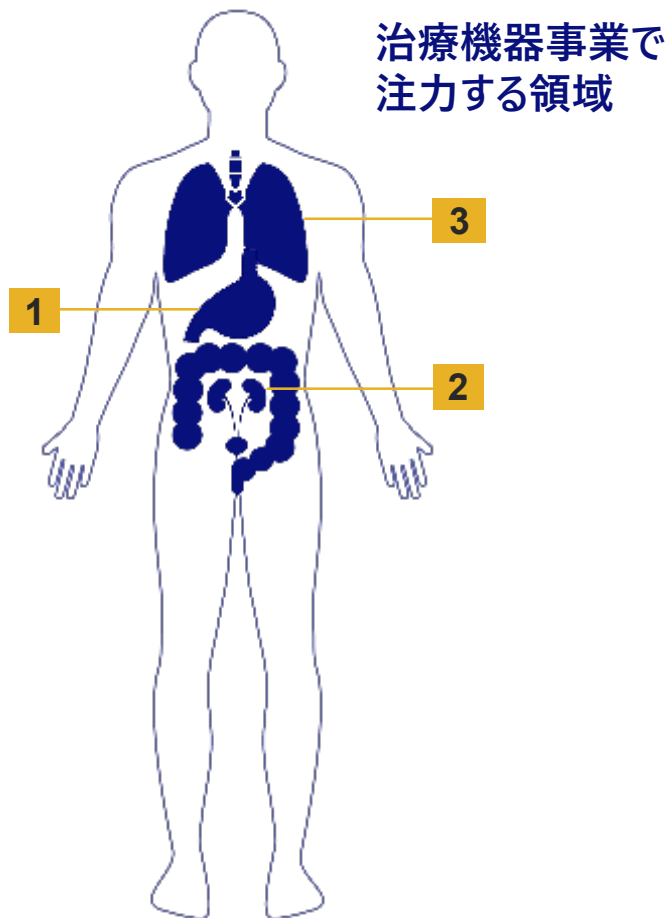


② グローバル事業統括拠点機能を米国に配置・確立

③ 事業開発機能の強化・確立により、社外パートナーとの協働やライセンス、M&Aを通じて、製品ポートフォリオの拡充・補完を推進

① 重点分野（消化器科・泌尿器科・呼吸器科）への注力

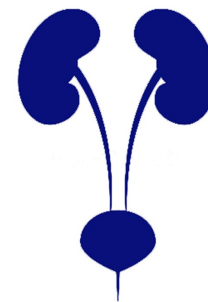
治療機器事業での成長を加速し、低侵襲医療による価値を高めるため、3つの治療領域でリーディングポジションを確立



1 消化器科

市場規模
No.3のポジション

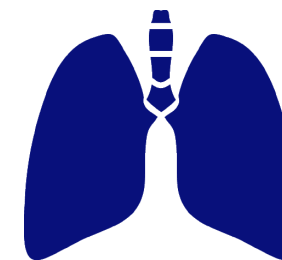
既存の製品領域において
製品ラインアップを拡充し、
関連する領域での成長拡大



2 泌尿器科

市場規模
No.2のポジション

前立腺肥大の分野で業界を
リードしつつ、製品ラインアップを
拡充し、結石処置における
競争力を向上



3 呼吸器科

市場規模
No.1のポジション

BLVR*市場をリードしつつ、
肺がんの早期診断、
処置の分野で成長拡大

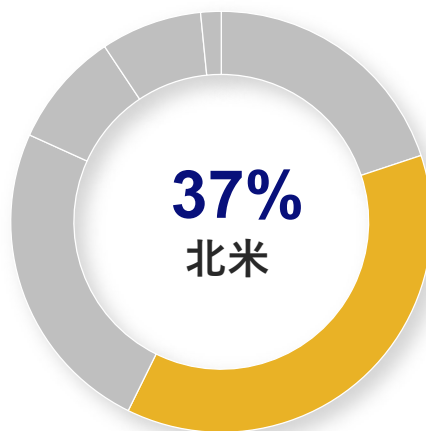
* Bronchoscopic Lung Volume Reduction

② グローバル事業統括拠点機能を米国に配置・確立

世界最大の治療機器市場である、米国の医療クラスター及び最大の顧客へのアクセスを強化



米国にある
治療機器事業のグローバル事業統括拠点



2,161億円

治療機器事業売上高
2020年3月期*

うち約40%が北米の売上

*数値は2020年3月時点の年度売上収益

米国に本社を置く競合他社

- ✓ Boston Scientific
- ✓ Cook Medical
- ✓ Johnson and Johnson
- ✓ ETHICON
- ✓ Applied Medical etc...

③ 事業開発機能の強化・確立により、社外パートナーとの協働やライセンス、M&Aを通じて、製品ポートフォリオの拡充・補完を推進

M&Aによる製品ポートフォリオの拡充・補完例

Arc Medical Design

2020年8月、英国医療機器メーカーArc Medical Design社の買収契約を締結し、消化器科のポートフォリオを拡充。

代表製品：ENDOCUFF VISION™

大腸内視鏡の先端に取り付ける機器で、フレキシブルアームが大腸のひだを搔き分け、粘膜を固定することで、大腸内視鏡検査や内視鏡的ポリプ切除術などにおける視認性の維持に貢献するように設計されている

買収金額：約40億円



ENDOCUFF VISION™

Veran Medical Technologies

2020年12月、呼吸器インターベンション分野*に注力する米国のVeran Medical Technologies社を買収し、呼吸器科のポートフォリオを拡充。

*気管支鏡を使った治療・診断

代表製品：SPiN Thoracic Navigation System®

細く枝分かれした気管支末梢部への気管支鏡や処置具の挿入を支援する電磁ナビゲーションシステム

買収金額：約350億円



電磁ナビゲーションシステム

Quest Photonic Devices B.V.

2021年2月、オランダの医療機器メーカー、Quest Photonic Devices B.V.社の株式取得が完了し、完全子会社化した。外科イメージング領域で拡大している蛍光イメージング市場のポートフォリオを拡充。

代表製品：Spectrum®

開腹手術や腹腔鏡手術における蛍光ガイド手術用のイメージングシステム

買収金額：約60億円



Spectrum®



SCIENTIFIC SOLUTIONS

科学事業





科学事業 : Scientific Solutions

オリンパスの科学事業は、ライフサイエンス分野、産業分野においてお客さまの様々なニーズに応える製品・ソリューションを提供しています。ライフサイエンス分野では、顕微鏡システムで、最先端の研究を支えています。また、産業分野では、工業用顕微鏡や工業用内視鏡に始まり、非破壊検査機器やX線分析装置に至るまで、多岐にわたる産業関連機器をラインアップしています。



科学事業：Scientific Solutions

ライフサイエンス



システム生物顕微鏡



インキュベーションモニタリングシステム



倒立型リサーチ顕微鏡

産業



デジタルマイクロスコープ



工業用ビデオスコープ



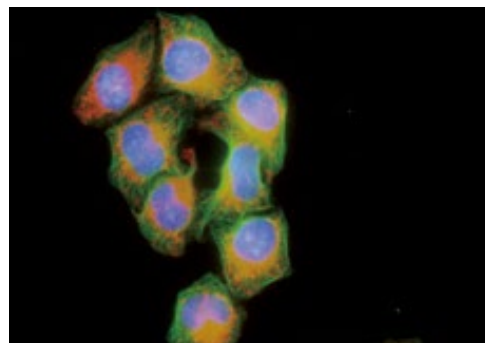
超音波フェーズドアレイ探傷器



蛍光X線分析装置

ライフサイエンス

- ✓ 次世代医療を切り開く最先端研究を支援
脳神経、がん研究・病理診断、再生医療（iPS細胞など）
- ✓ 先進の研究領域から、臨床、教育まで幅広く貢献

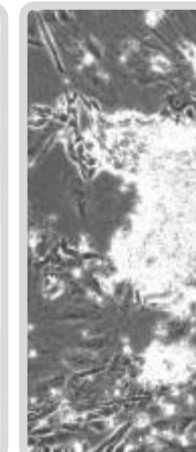
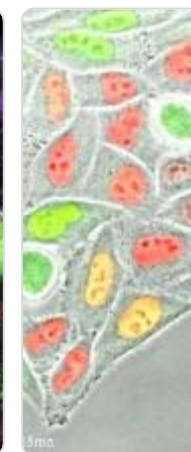
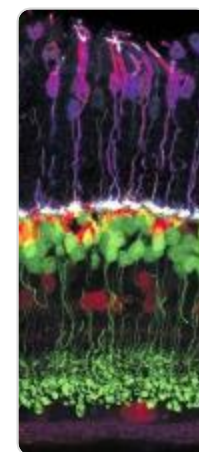


ライブセルイメージング



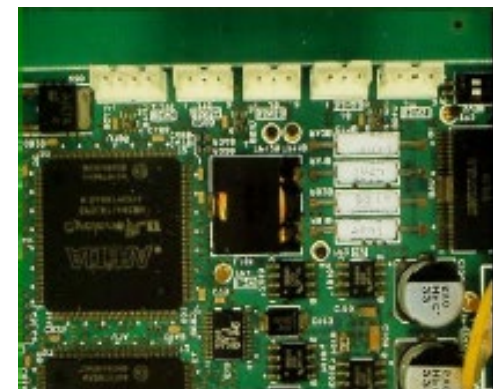
生物顕微鏡

脳神経科学 がん診断 がん病理診断 再生医療



産業

- ✓ 産業製品の生産性向上に貢献
半導体、電子部品、自動車部品の検査
- ✓ 安全安心に暮らせる社会づくりに貢献
航空機エンジン、プラント配管等の非破壊検査
物質特性の定性的・定量的解析



半導体検査



航空機エンジン検査



プラント配管検査



部品の成分元素検証

03

真のグローバル・メドテックカンパニーへの
飛躍に向けて

戦略目標と業績指標



世界をリードするメドテックカンパニーへと成長し、革新的な価値によって患者様、医療従事者、医療機関、医療経済にベネフィットをもたらし、世界の人々の健康に貢献する



年率 **5-6%**の売上高成長率を持続



>20%の営業利益率*を目指す



当社が注力する治療領域において
リーディングポジションを獲得
(消化器科、泌尿器科、呼吸器科)

*特殊要因調整後

2023年3月期 財務ガイダンス

2020年3月期

2023年3月期 目標水準



営業利益率*

約 **12%**



>20%

*特殊要因調整後。2020年3月期の営業利益率は映像事業を除く継続事業の営業利益率を表示しています。（監査前の数値となります。）

FY2021

持続的な成長に向けて、真のグローバル・メドテックカンパニーへの転換を加速させる好機



事業ポートフォリオ
の選択と集中



固定費の
構造改革



次世代消化器
内視鏡 EVIS X1の
確実な市場導入



今後の成長を
牽引する製品
開発への着実な
投資継続



効率的な
研究開発

☑ 着実に施策を実行しており、今後も企業改革を推し進める

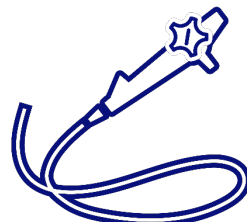
- 日本産業パートナーズ株式会社に映像事業の譲渡が完了
- 次世代消化器内視鏡「EVIS X1」を欧州・アジア一部地域、日本で発売（内視鏡CADプラットフォーム「ENDO-AID」を発売）
- 医療分野の成長に向けて複数のM&Aを実施（消化器科：Arc Medical Design社、呼吸器科：Veran Medical Technologies社、整形外科：FH ORTHO社、外科：Quest Photonic Devices B.V.社）
- 社外転進支援制度の実施
- 販売体制強化のため、国内販売機能を再編

医療分野における今後の展望

経営戦略：内視鏡事業における圧倒的ポジションの強化



リユース内視鏡の競争優位性の堅持
継続的な技術革新と販売力



シングルユース内視鏡によるポートフォリオ
拡充
リユース内視鏡を補完する製品ラインアッ
プの提供

~6%

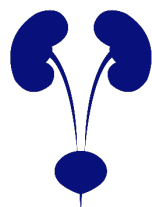
内視鏡事業
年平均成長率**

経営戦略：治療機器事業への注力と拡大



消化器科

既存の製品領域において
製品ラインアップを拡充し、
関連する領域での成長拡大



泌尿器科

前立腺肥大の分野で業
界をリードしつつ、製品ライ
ンアップを拡充し、結石処
置における競争力を向上



呼吸器科

BLVR*市場をリードしつつ、
肺がんの早期診断、
処置の分野で成長拡大

~8%

治療機器事業
年平均成長率**

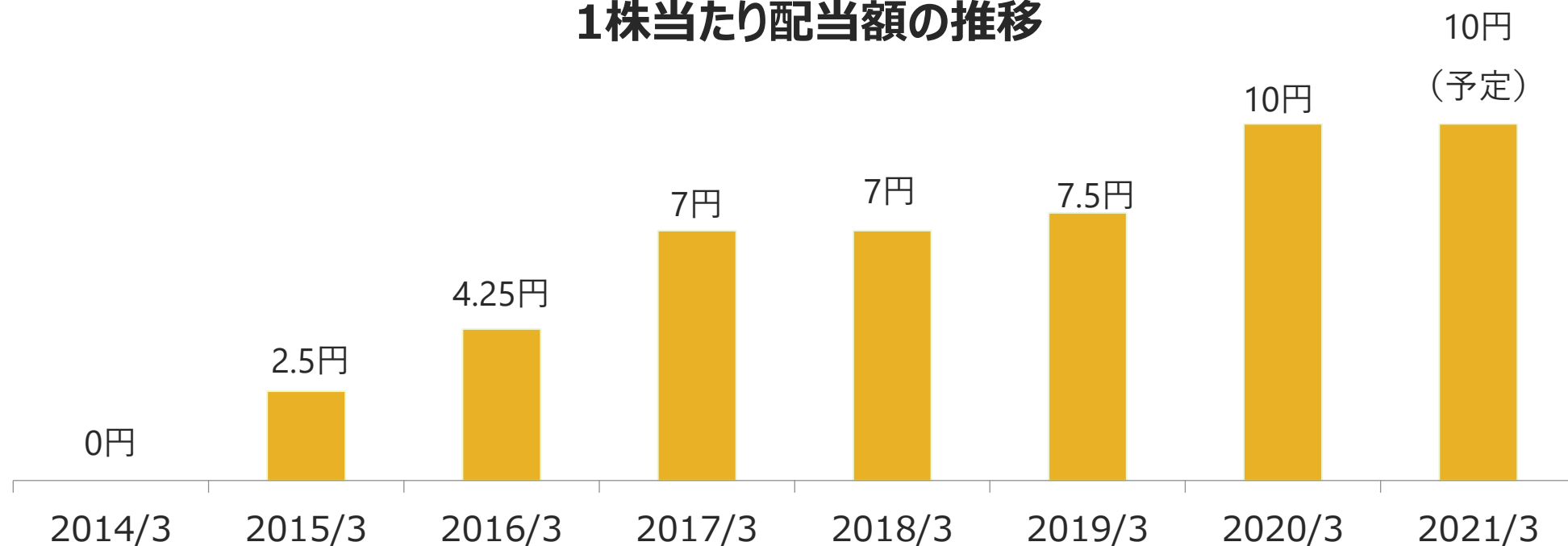
04 株主還元

株主還元

資本配分の基本方針

- 企業価値向上のため、安定した財務基盤の確保を前提とし、医療分野を中心とした成長領域への投資を優先した上で、株主のみなさまのご期待に応えるため、安定的な株主還元を継続する

1株当たり配当額の推移



■ 1株当たり配当額の推移

*2020年3月期以前の配当額についても株式分割を行ったと仮定した金額にて記載

OLYMPUS

A thick, yellow, brushstroke-style underline that tapers at both ends, positioned directly beneath the word "OLYMPUS".

【参考資料】 ホームページ等お役立ち情報

● 投資家情報ページ

<https://www.olympus.co.jp/ir/>

- 直近の決算情報や統合レポートなど、投資家の皆さま向けの情報をご紹介します



QRコード

● 個人投資家の皆さまへ

<https://www.olympus.co.jp/ir/individual/>

- 個人投資家の皆さま向けに当社事業内容や強み、歴史等について分かりやすくご紹介しています



QRコード

● オリンパスニュースメール登録

<https://www.olympus.co.jp/ir/mail.html>

- 当社ニュースリリースや適時開示情報を配信しています。ご希望の方は是非ご登録ください



QRコード

● 「OLYMPUS NEWS」アプリ

- 当社製品の最新情報や決算情報、適時開示情報、経営に関する情報等を配信しています



QRコード